

コロナショックが日本経済、 地域経済に及ぼす影響

2020年11月18日
大正大学教授

小峰隆夫

地域戦略人材塾の狙い

- ① 経済社会の大きな流れ、変化を掴むこと
・変化は早いので思考も弾力的にしたい
(例) コロナショックの影響、菅政権の経済政策の方向
- ② 戦略を練るための多様な道具を知ること
・経済学の分野でも次々に新しい考え方が登場しているので、道具立てのオプションを増やしたい

コロナショックと地域

1. 経済・社会全体の流れを知る・・・コロナショックは日本の経済社会にどのような影響を及ぼしつつあるのか
2. コロナショックが変える地域戦略
 - ・ 経済・人口などの基本的フレームの変化
 - ・ インバウンド観光など基本戦略の再検討
3. 今後塾で扱いたいテーマとの関係
 - ・ EBPM、ナッジなど

コロナショックと日本モデル

戦略塾との関係

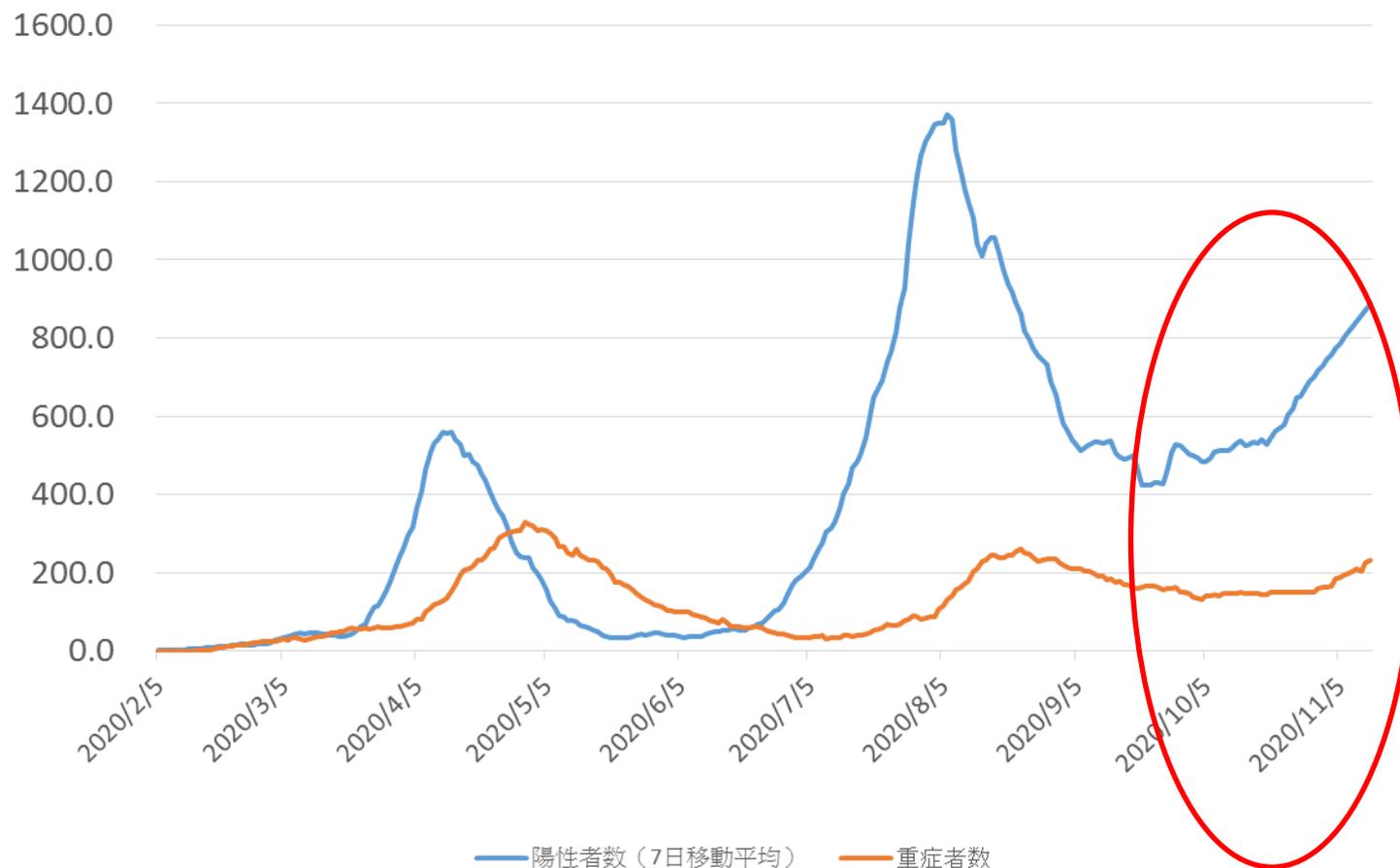
EBPMの基本はデータとロジック

行動経済学の基本は、人間の思考にはバイアスがあるということ

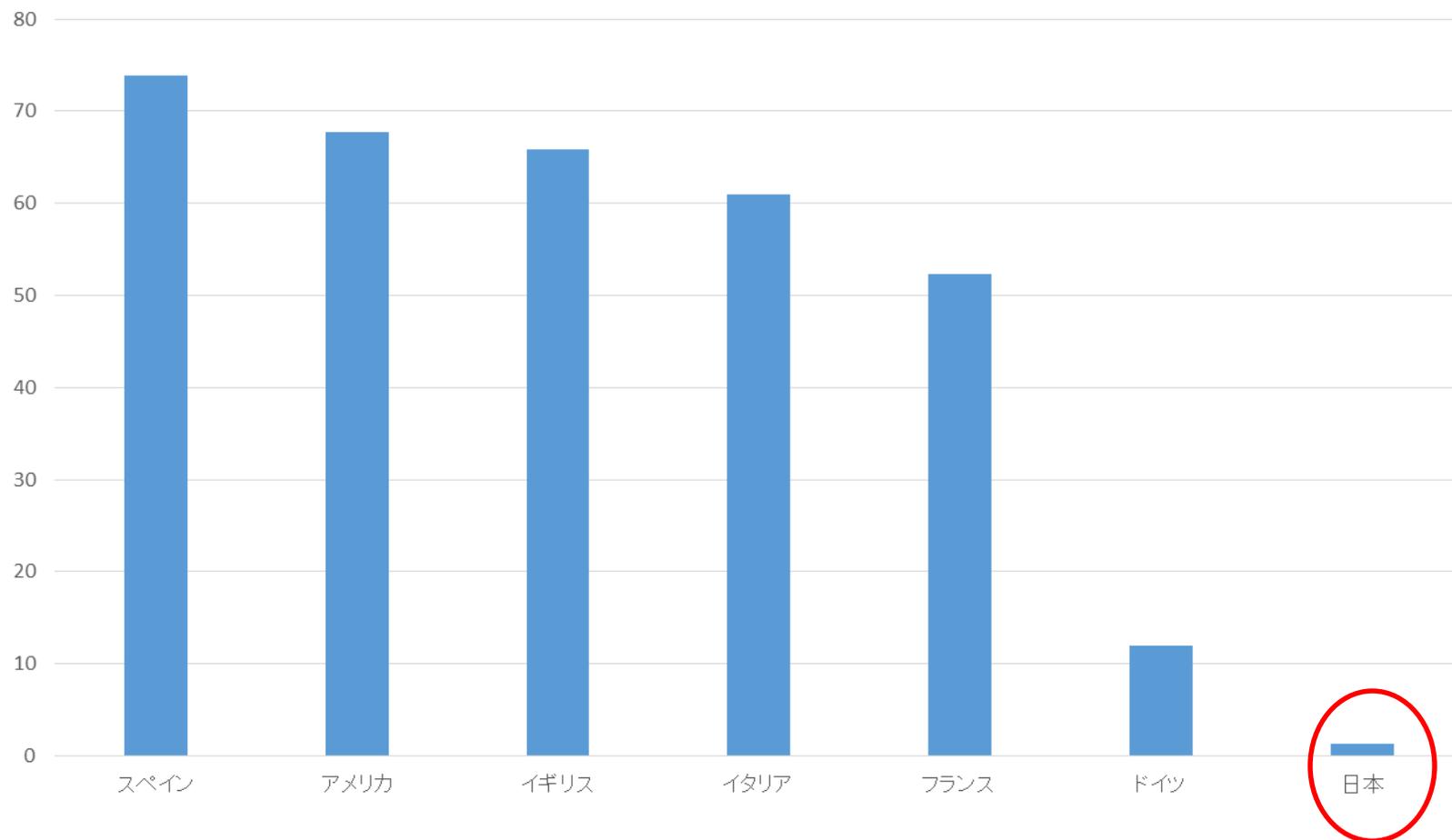


コロナを見る時も同じ

陽性者数と重症者数の推移



人口10万人当たりの死者数



【単なる備忘メモ19】 なぜか多くの人の頭には「日本の人口当たりコロナ死者数は欧米の百分の1（日本は進んでいる）」という情報よりも「日本のPCR検査数は海外の数十分の1（日本は遅れている）」という情報の方が定着しやすいようですね。誰かこのバイアスを行動経済学的に解明して欲しい。



大竹文雄 @fohtake · 59分

返信先: @Takao_Komineさん, @aka_H710さん

確証バイアスだと思います。

確証バイアス

人間は自分の考えが正しいか否かを検証する際に、自分の考えを証明する証拠ばかりを探してしまい、反証情報に注目しない傾向が強い。これを確証バイアスと呼ぶ。ある情報が入ってきた場合、その情報と合致する事例が見つかることによって、その情報は正しいと証明されたような気持ちになりやすい。しかし、これは証明を指示する情報が見つかったと言うだけで、反証を指示する情報の方が多い可能性は十分にあり得るのである。

日本モデルとは何か

仮説は多いが実証的な決定打はない

- ① BCGワクチン説
- ② 日本型の対応成功説（抑制的検査、三密回避）
- ③ 充実した医療体制説
- ④ 日本人の同調的行動説（緩い規制でもマスクをして行動を抑制）
- ⑤ 日本の生活慣習説（屋内では靴を脱ぐ、握手・ハグなどをしない、そもそも清潔好き）

コロナショック下の経済の現状

戦略塾との関係
経済社会の大きな流れをつかむ

コロナショックを考える 三つのフェーズ区分

フェーズ1・・・感染症防止のため経済活動を自粛する時期（2020年1-3月期～4-6月期）

フェーズ2・・・感染症の広がり と 経済活動のバランスを保つ時期（7-9月期以降）

フェーズ3・・・感染症から解放され、新しい歩みを始める時期（いつになるかは不明）

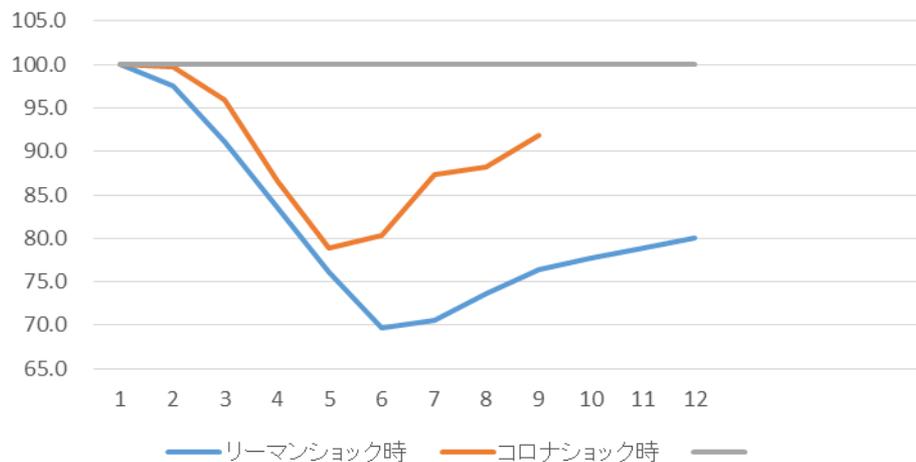
コロナショック下の日本経済では 何が起きていたのか

- ① 支出（需要面）・・・消費と輸出の激しい落ち込み
- ② 生産（供給面）・・・製造業に加えて非製造業も落ち込みが大きい
- ③ 所得（分配面）・・・賃金より大きかった消費の落ち込み、これに10万円給付が加わって家計貯蓄は大幅増
- ④ 雇用・・・経済の落ち込みの割には、就業者の減少、失業者の増加は小さかった

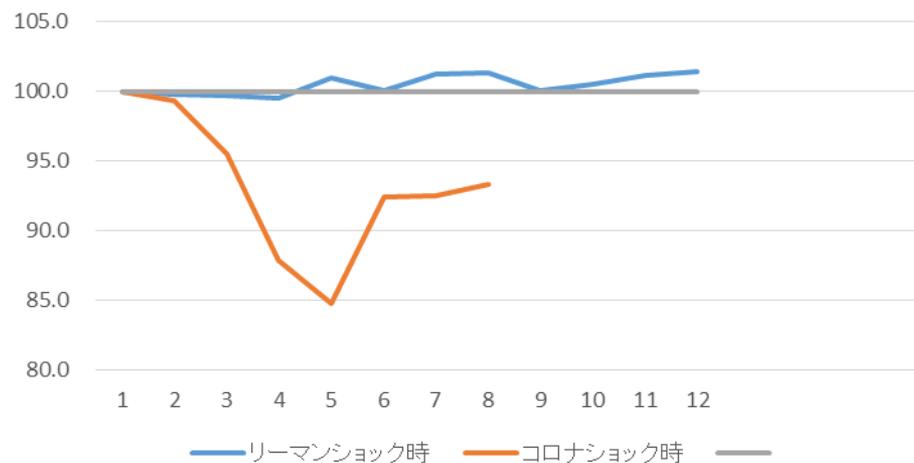
4-6月期の支出面の動き

	国内総生産	同年率	家計最終消費支出	民間住宅	民間企業設備	輸出	輸入
2019年1-3月期	0.7	2.9	0	1.4	-0.5	-1.7	-4.5
4-6月期	0.4	1.6	0.5	-0.2	0.8	0.1	1.8
7-9月期	0	0.2	0.4	1.3	0.2	-0.6	0.7
10-12月期	-1.8	-7.1	-3	-2.3	-4.8	0.4	-2.4
2020年1-3月期	-0.6	-2.3	-0.8	-4	1.7	-5.3	-4.1
4-6月期	-8.2	-28.8	-8.5	-0.5	-4.5	-17.4	2.2
7-9月期	5	21.4	4.7	-7.9	-3.4	7	-9.8

鉱工業生産指数



第3次産業活動指数



経済産業省「鉱工業生産指数」「第3次産業活動指数」より

4-6月期の分配面の動き

単位：兆円

	営業余 剰・混合 所得	雇用者報 酬（受取）	財産所得 （純）	その他の経 常移転 （純）	可処分所 得	家計最終 消費支出	貯蓄	貯蓄率 （%）
2019/ 1- 3	37.3	286.6	27.7	-2.6	310.2	297.6	12.0	3.9
4- 6	37.3	288.9	26.4	-2.6	313.8	299.3	14.0	4.5
7- 9	35.9	288.8	25.1	-2.7	311.6	300.7	10.4	3.3
10-12	36.9	290.5	26.1	-2.0	315.3	293.4	21.5	6.8
2020/ 1- 3	36.4	292.0	26.4	-1.9	315.9	291.0	24.6	7.8
4- 6	36.1	280.4	26.2	37.2	346.7	266.1	80.1	23.1
4-6月期の 前期比増分	-0.3	-11.6	-0.2	39.1	30.8	-24.9	55.5	15.3

雇用と所得の変化

雇用情勢は悪化しているが・・

- ① 所得の落ち込みはそれほど大きくない
- ② 就業者は減っているが、それほど大きな減少ではない
- ③ 就業者は減っているが失業者は余り増えていない

雇用状況の推移

※季節調整値、万人、
【】内は女性の人数

2020年	就業者	休業者 (就業者の内数)	失業者	[失業率]	非労働力 人口
3月	6,732 [2,996]	200 [128]	172 [69]	[2.5%]	4,180 [2,662]
	↓ (▲107) 【▲70】	↓ (+452) 【+262】	↓ (+6) 【▲1】	+0.1 %pt	↓ (+94) 【+68】
4月	6,625 [2,926]	652 [390]	178 [68]	[2.6%]	4,274 [2,730]
⋮	↓ (+23) 【+7】	↓ (▲445) 【▲274】	↓ (+18) 【+15】	+0.3 %pt	↓ (▲48) 【▲25】
7月	6,648 [2,933]	207 [116]	196 [83]	[2.9%]	4,226 [2,705]
	↓ (+11) 【+12】	↓ (▲16) 【▲5】	↓ (+9) 【+5】	+0.1 %pt	↓ (▲23) 【▲18】
8月	6,659 [2,945]	191 [111]	205 [88]	[3.0%]	4,203 [2,687]
4月 ↓ 8月	(+34) 【+19】	(▲461) 【▲279】	(+27) 【+20】	+0.4 %pt	(▲71) 【▲43】

内閣府「月例経済報告」(2020年10月)資料より

失業を防いだ「企業内失業」と「家庭内失業」

企業内失業（休業者）、家庭内失業（非労働力人口の増分）が潜在的失業者だったとすると



潜在的失業率	4月	10.5%
	8月	3.3%

伝統的な「雇用保蔵」と「非正規のバッファ」が作用した



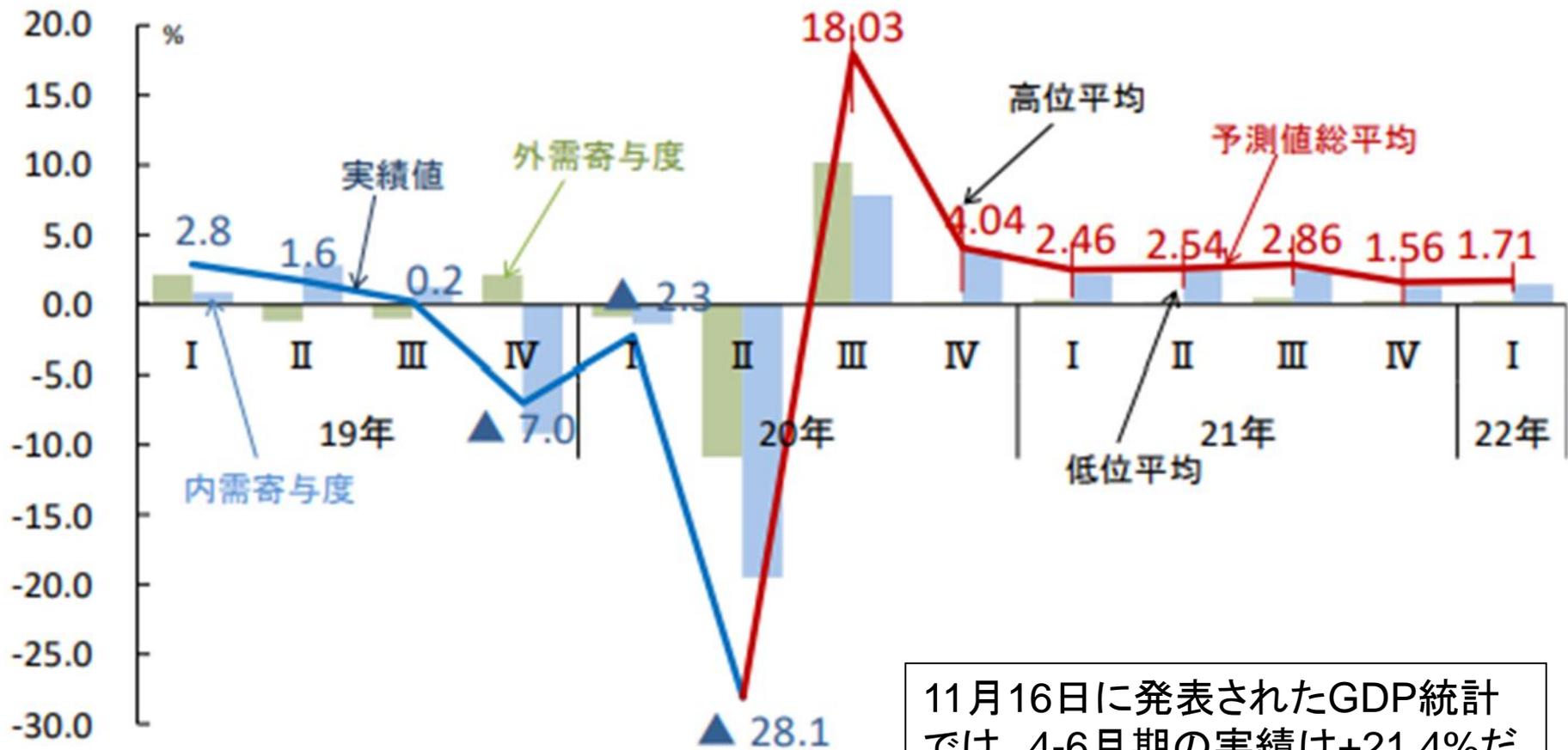
長期的な雇用の将来とは整合的か？

今後の経済の展望

コロナショックと景気変動

1. 景気の谷は2020年5月の可能性が大
⇒コロナショックによる景気後退は超短期だった
2. フェーズ2の成長率は高めだが、レベルは低い状態が続く（方向と水準の乖離）
3. これは「V字回復」か？

今後の成長率予測（実質、前期比年率）



11月16日に発表されたGDP統計では、4-6月期の実績は+21.4%だった

専門家は景気の谷は2020年5月だと判断

18年10月の景気転換点(山)(政府見解、暫定)の次の景気転換点(谷)はもう過ぎたかどうかを聞いた。(回答数33)

・はい(=過ぎたと思う人)・・・33名(前月調査33名)

転換点(谷)は2020年4月・・・1名、2020年5月・・・31名、2020年7月・・・1名

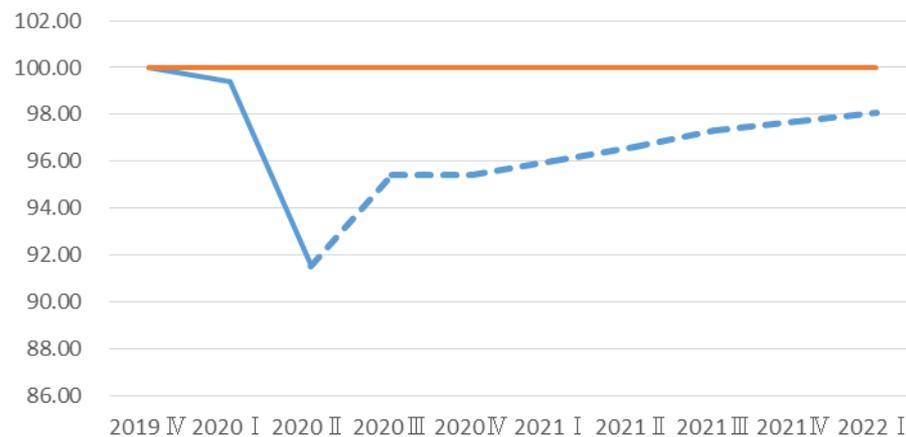
・いいえ(=過ぎていないと思う人)・・・0名(同1名)

景気の「方向」と「水準」のかい離

① GDPの成長率(実質、前期比年率)



② GDPの水準(2019年10-12月期=100)



いくつかの政策トピック

- 野党が主張する消費減税をどう考えるか
 - ① 消費を喚起する効果はあるか
 - ② 効率的な所得再分配策か
 - ③ 財政への影響をどう考えるか
- Go To Travelを経済学的にどう評価するか
旅行そのものの奨励は感染リスクを高める恐れ→経済学者の解決策は？

コロナショックがもたらす 構造改革

コロナショックと構造改革

①ビッグプッシュ型の影響・・・日本が目指すべき方向に正の影響

働き方改革

行政部門のデジタル化

東京一極集中の是正

②目指すべき課題解決の足を引っ張る影響

デフレからの脱却

財政再建

低温経済

働き方は変わるか

雇用形態は2つに大別される		
ジョブ型	雇用形態	メンバーシップ型
欧米	主な採用国	日本
職務を明確にし、最適な人材を充てる	概要	職務を限定せず、広く人材を採用
限定的・専門的	仕事の範囲	総合的（ジョブローテーション）
高い	人材流動性	低い

メンバーシップ型雇用と日本の課題

- ① 雇用の流動性を阻んでいる
- ② 女性の経済社会への参画が進みにくい
- ③ 女性の機会費用を高め少子化を深刻化させている
- ④ 長時間労働をもたらしている
- ⑤ 正規・非正規間の格差を広げている
- ⑥ 天下り・縦割り社会を生んでいる
- ⑦ ベンチャー企業が出にくい

テレワークとジョブ型雇用は親和性が高い

- ①ジョブ型では、「上司に言われたことをやる」というあいまいなものではなく、職務内容を文書で明確にしておく必要がある（ジョブ・デスクリプション）
 - ②「何時間働いたか」という勤務時間ではなく、「どういう成果を挙げたか」が問われる
- ・企業もジョブ型への移行を真剣に考え始めている

大都市圏への集中は是正されるか

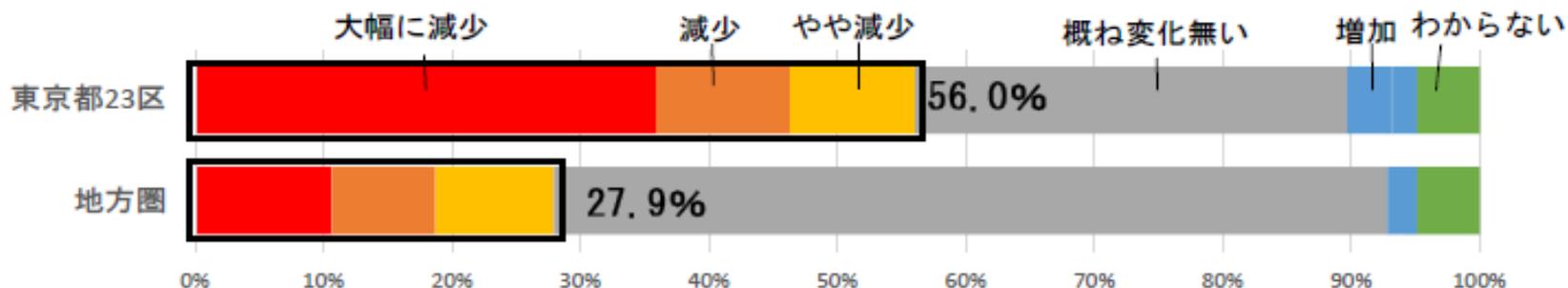
<就業者への質問>

通勤時間の変化

→通勤時間が減少した人の7割超が今後の継続を希望

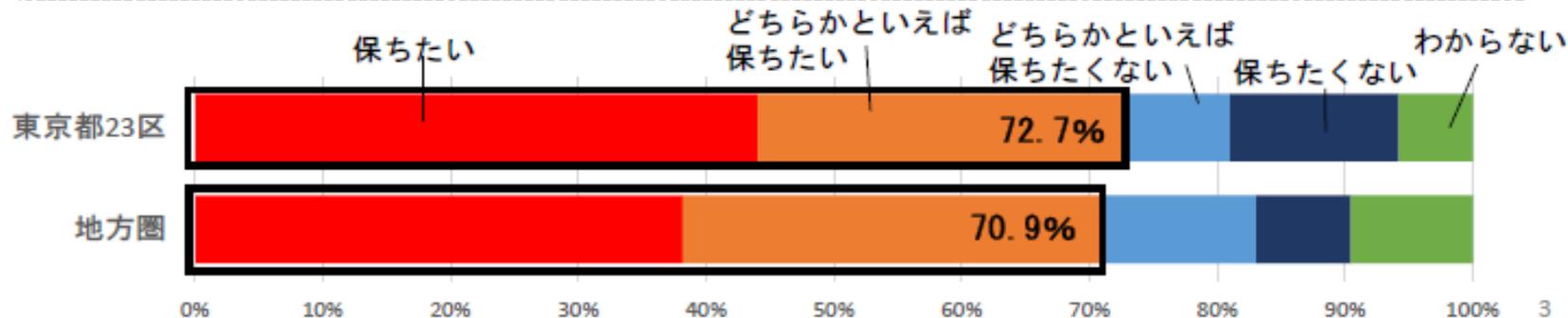
就業者の通勤時間の変化

質問 今回の感染症の影響下において、1週間の中で通勤にかかる時間はどのように変化しましたか。



通勤時間減少者の今後の継続希望

質問 現在の通勤時間を今後も保ちたいと思いますか。(通勤時間が減少したという回答者に質問)

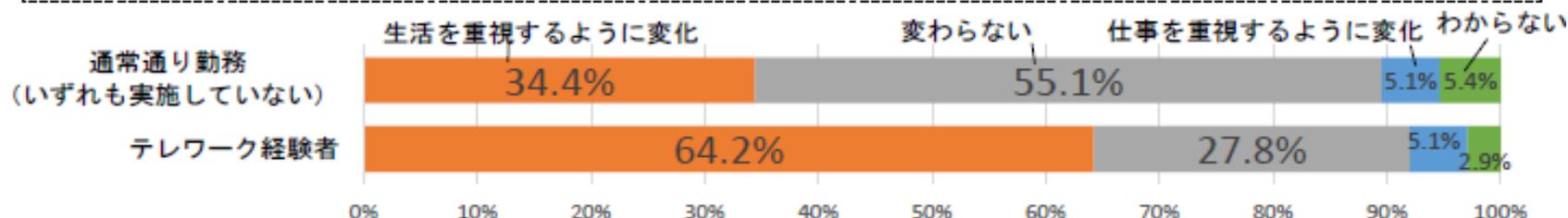


< 共通質問（就業者の経験した働き方別に集計） >

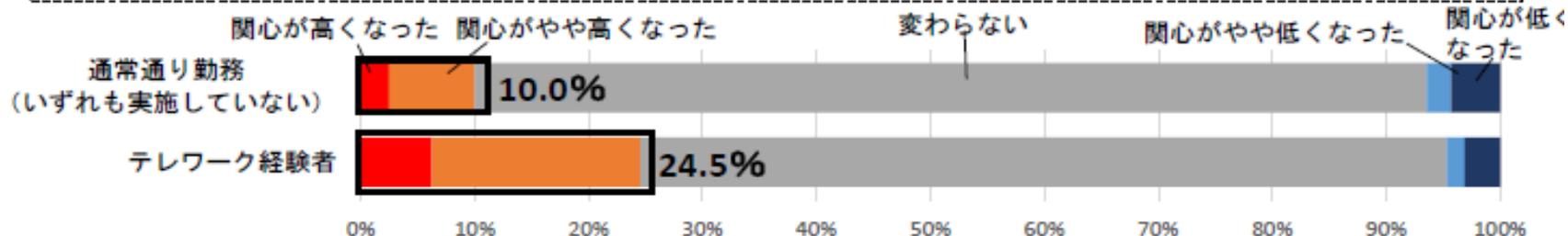
テレワーク経験者の意識の変化

→テレワーク経験者は、WLB、地方移住、仕事に関する意識が変化した割合が高い。

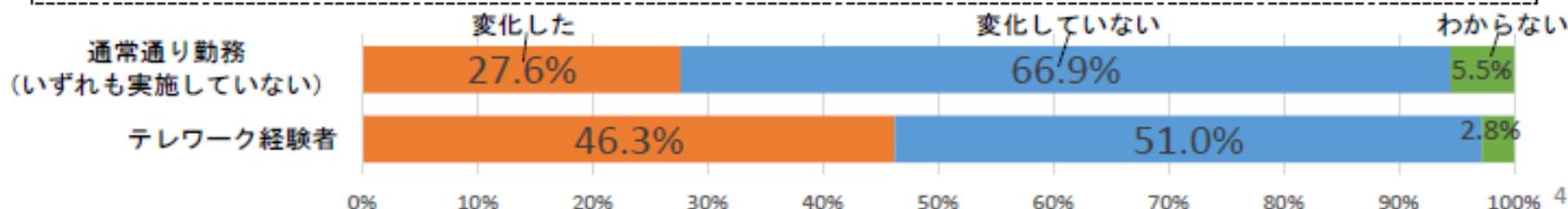
質問 今回の感染症拡大前に比べて、ご自身の「仕事と生活のどちらを重視したいか」という意識に変化はありましたか。



質問 今回の感染症の影響下において、地方移住への関心に変化はありましたか。



質問 今回の感染症拡大前に比べて、職業選択、副業等の希望は変化しましたか。



内閣府「新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」(2020年6月)より

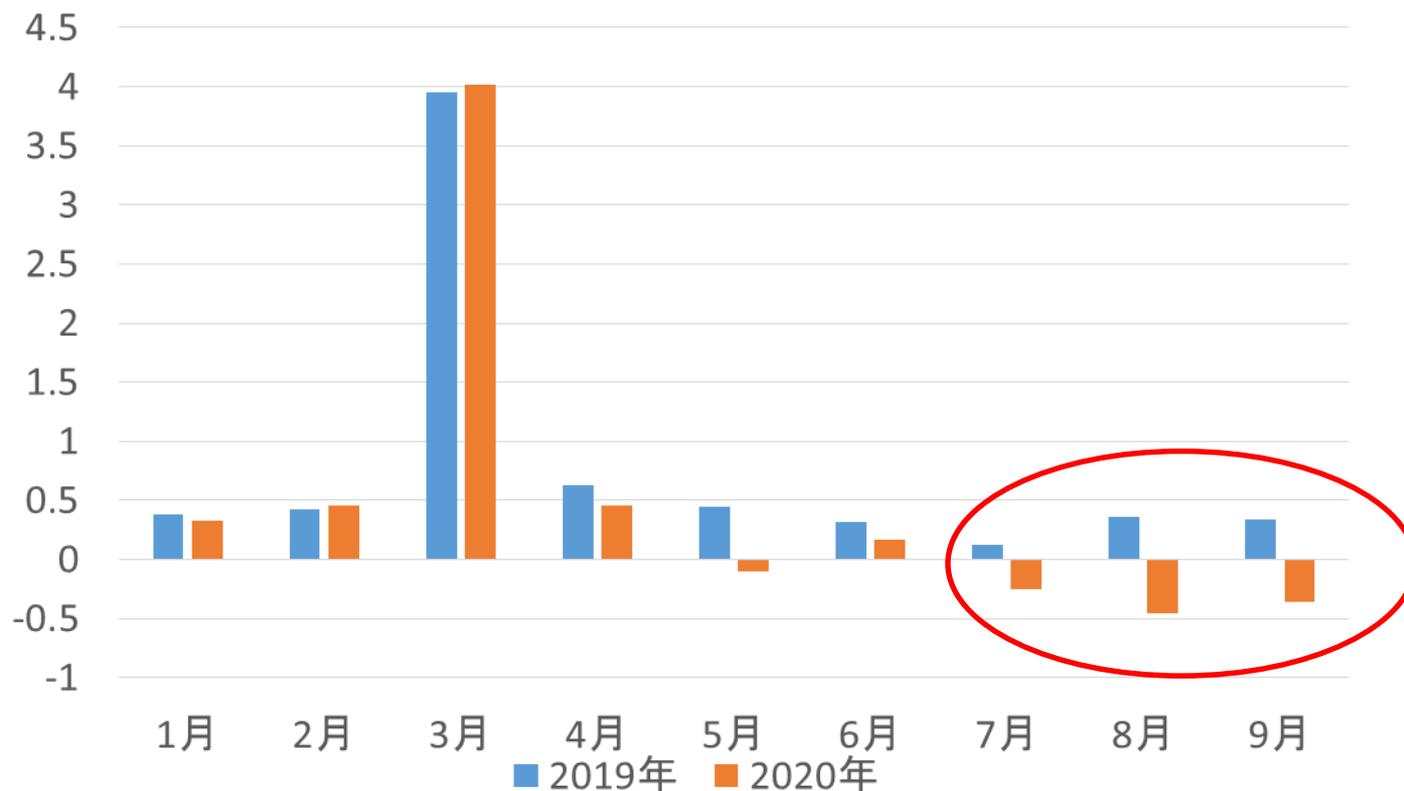
中間知の拡大とサービスの非対面化

暗黙知の相対的価値の高まりと集積のメリット
⇒コロナショックで「オンラインでも創生・伝達可能な領域（中間知）」が拡大
⇒ジョブ型への働き方改革の進展

サービスの非対面化の進展

⇒レストランの料理の宅配、通信販売、SNS

東京都の純転入者数の推移 (マイナスは転出超過、万人)



総務省「住民基本台帳人口移動調査」より

具体的には、地方に生み出す年間 10 万人分の雇用創出力を活用しつつ、現在、年間 47 万人の地方から東京圏への転入者を年間 6 万人減少させ、年間 37 万人の東京圏から地方への転出者を年間 4 万人増加させる。こうした、東京圏から地方への新たな「ひと」の流れづくりにより、東京圏からの転出者と、東京圏への転入者を均衡させ、東京一極集中の流れを止めることを目指す。

- 東京圏から地方への転出 4 万人増加（2020 年時点、2013 年比）
- 地方から東京圏への転入 6 万人減少（2020 年時点、2013 年比）
- 上記により、2020 年時点で東京圏から地方への転出・転入を均衡

コロナショックと 行動経済学に基づくナッジ

ナッジとは？

「ナッジ (Nudge) 」とは、「ひじで軽くつつく」という意味。行動経済学の理論に基づき、「人間が強制的に動かされるのではなく、自発的に行動するように促すアプローチ」のこと。

ナッジの4分類

行動経済学の意思決定のクセを利用したナッジ

デフォルトの変更

損失の強調

他人との比較

コミットメント

人間行動の特徴を生かした政策の例

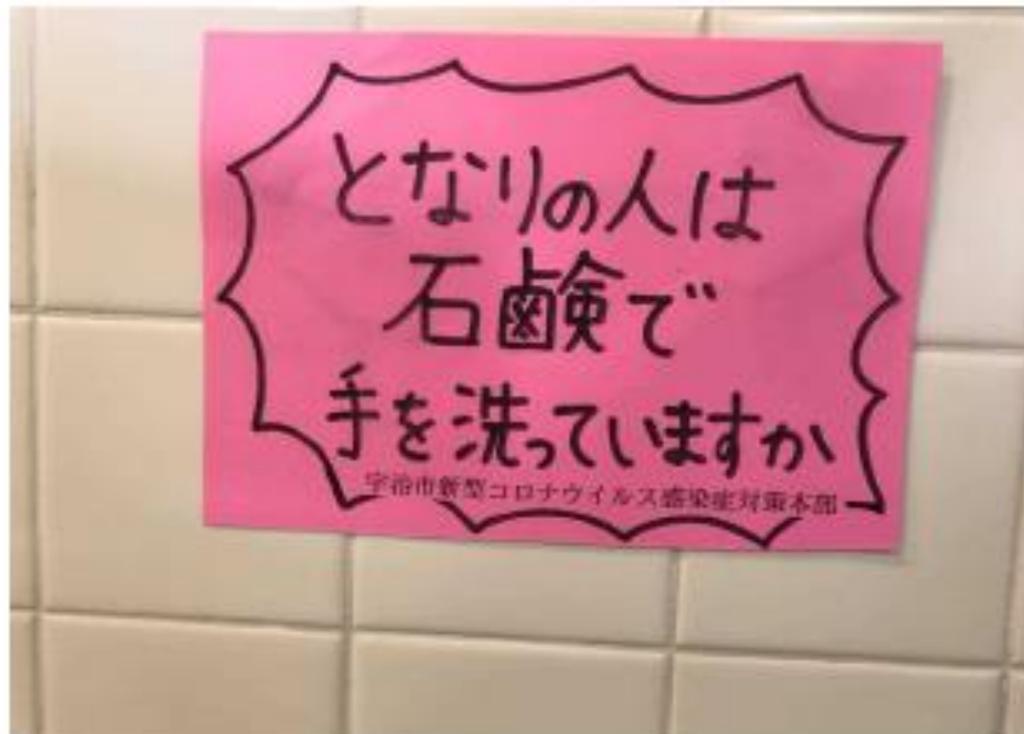
行動特性	内容	実際の政策
同調効果	周りの人の行動をみて似た意思決定	身近な人の納税状況を示すことで税金を納めるよう促す（英国）
損失回避	利益を得るより損失を避けることを重視	がん検診を受けないデメリットを案内文で強調（東京都八王子市）
現在バイアス	将来よりも現在の利益を重視する傾向	非加入の意思を示さない限り私的年金に自動加入させる（英国）
情報過多	情報が多いと選択が難しくなる	私的年金の運用の初期設定を多くの人に理想的なバランス型に（英国）
パーソナライゼーション	自分に関係すると感じてふさわしい行動	犬のフンに黄色いチョークで印を付けフン書を削減（京都府宇治市）

- 施設等の出入口に消毒液を設置 使用率は10%程度
- 消毒液の方向に黄色で矢印
- 人の動線に配慮し、最も効果的な場所に消毒液を設置
- 介入前後で、出入口を通過した人数及び消毒した人数を記録
- 医療機関によれば、施設入口での消毒で65%感染予防に貢献



手洗者の注意を引く効果

- ナッジを石鹼手洗い行動促進に活用
- 市役所本庁舎8階建ての全トイレでメッセージ掲示

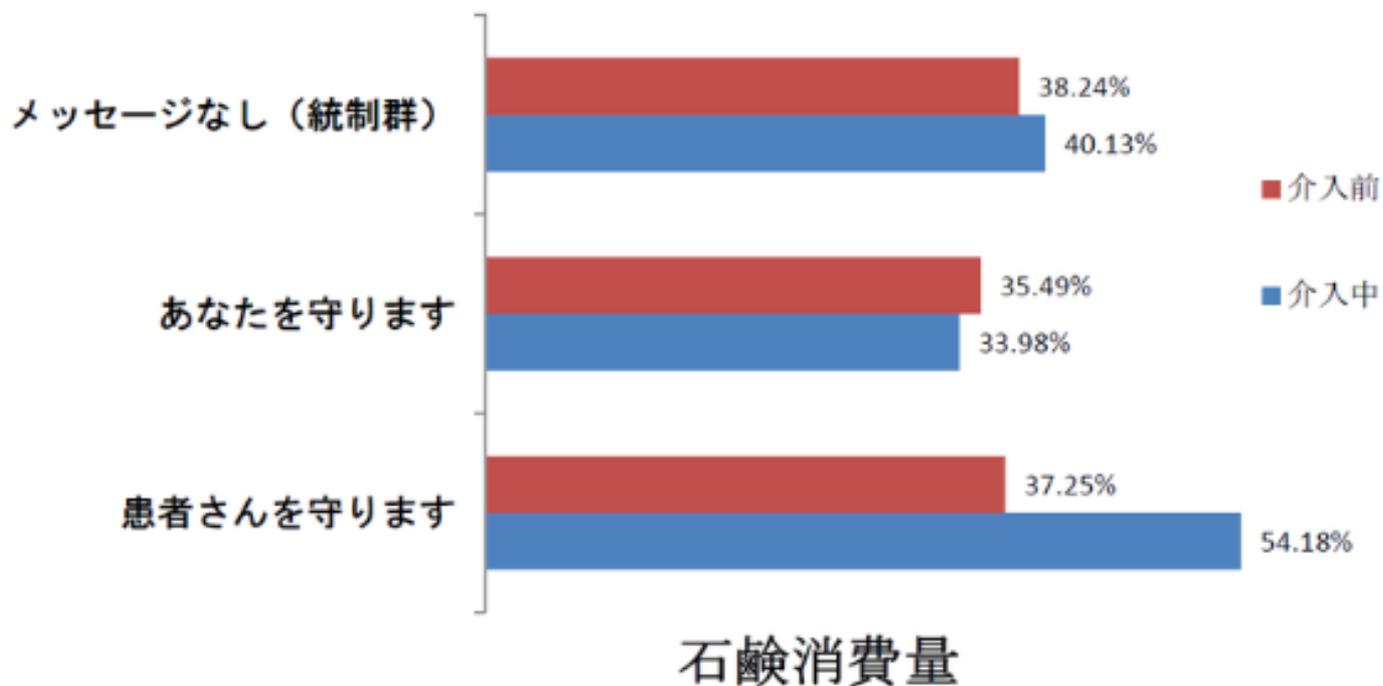


Hand hygiene prevents you
from catching diseases.

手洗いは感染から
あなたを守ります

Hand hygiene prevents patients
from catching diseases.

手洗いは感染から
患者さんを守ります



デフォルト(初期設定)の工夫 特別強い好みがないと与えられた選択肢を選びがち
テレワークを進めるためには……



基本は出勤



基本は在宅

デフォルトの設定

「在宅が基本で出社の場合は申請する」 → 在宅がデフォルト

「出社が基本で在宅の場合は申請する」 → 出社がデフォルト